

所長の模型部屋（第4回）

みなさん、こんにちは。

先日、娘に自衛隊の車の中でどの車が一番乗り心地が良いの？と聞かれました。

もちろん、自衛隊の車両は戦闘車両ですから、乗り心地は二の次なのですが・・・あえて言うならこの車！

96式装輪装甲車です！



乗り心地については色々と思見がございましょうが、富士学校での幹部教育で操縦させてもらったとき、こんなに乗り心地の良い戦闘車両があるのかと思いました。ハンドルはもちろんパワーステアリング、シートは電動パワーシート！エンジンは横にあるのに音が低く静かだったことが印象に残っています。もちろん、車長席や後部乗員席はそれほど良いとは言えませんでした・・・あえて、操縦手の観点で判断させていただきました。

皆様にとってこの車両は、イラク人道復興支援にも参加していたことから軽装甲機動車とともに日の丸をつけていた車両としての印象が深いかと思えます。公道を走る事の出来る装輪装甲車ですので北海道の道路では目立っていました。今回は、そんな思い出もあり、真駒内の第18普通科連隊3中隊仕様してみました。



キットは皆様ご承知のとおりモノクローム社を使用しました。エッチングパーツは使用せずほぼストレート組です。あえて改造したところは操縦主要ハッチを閉鎖状態にしたところです。キットには操縦席カバーが付いていますが、防弾効果があるわけ無いので、有事を想定した訓練では外しており、この様にハッチを閉鎖して行動することとなります。



操縦席カバーに伴うモールドを削り取り、操縦手ハッチが閉鎖した状態を作りました。フィギュアはビットロード社の89式装甲戦闘車についていた車長を使用しました。ただ、防弾チョッキは試作品をモデル化したようなので細部のモールドが省略されています。偽装及び各種装具をつけるためのバンドをマスキングテープを加工して追加しました。

(見えないけど・・・)。



搭載されている40mm自動擲弾銃は部品が細かく接着するのに手間がかかりました。でも、こうして出来上がると、近未来的な装甲車的な感覚に陥るのは私だけでしょうか・・・さて次回は・・・

89式装甲戦闘車です。



次回もお付き合い下さい